

2021年3月期 第2四半期決算説明資料

2020年11月5日



三信電気株式会社

代表取締役 社長執行役員(COO)

鈴木 俊郎

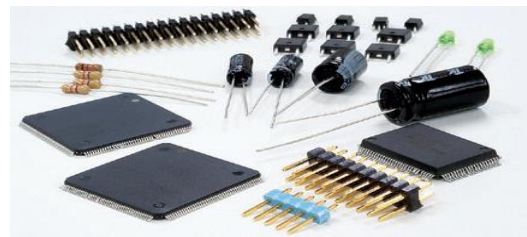
(証券コード:8150)

エレクトロニクスの総合商社としてお客さまのベストパートナーをモットーにデバイス事業とソリューション事業を展開しております。

デバイス事業

～幅広い製品ラインナップで多様なニーズに対応～

国内外大手の半導体／電子部品メーカーのほか、優れた製品開発を行っている新興メーカーまで幅広く取り扱っております。マーケットニーズが多様化する今日、充実したラインナップときめの細かい国内外販売体制でお客様のご要望にお応えしております。



ソリューション事業

～ICTでつなぐ社会インフラの創造～

情報通信ネットワークを核に、お客様のニーズに最適なシステムの提案や構築を行っております。また、導入後のサポートメニューも含め一括したサービスで、お客様に安心・安全なインフラをご提供いたします。



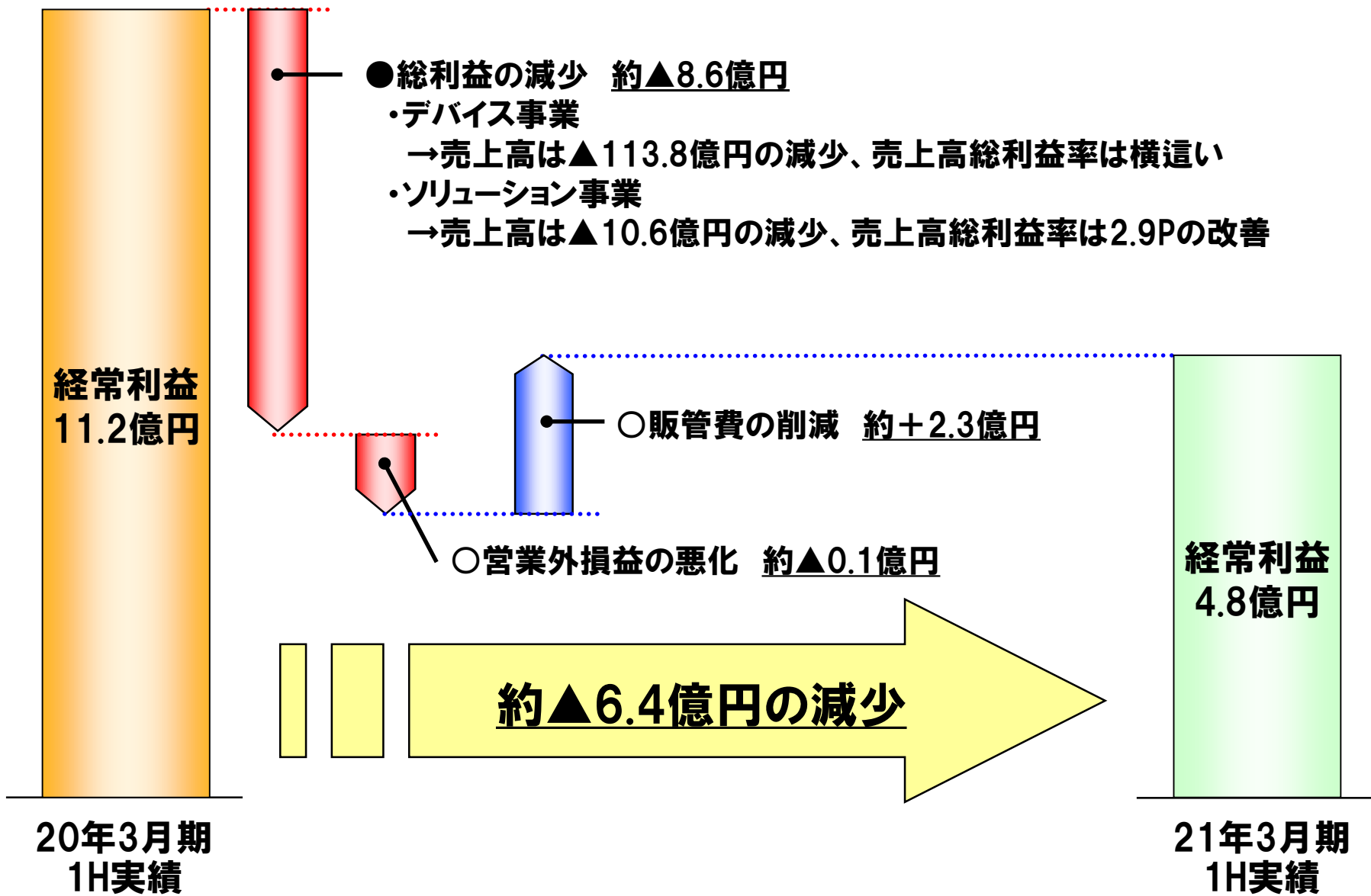
I. 2021年3月期 第2四半期業績概要

- 売上高は新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大や仕入先の商流変更等により前年同期比で減少
- 損益面は販管費が減少したものの、売上総利益の減少が響き前年同期比で減少

	20年3月期 第2四半期 累計実績	21年3月期 第2四半期 累計実績	前年 同期比	予想 ※①	予想比
売上高	664.1	539.7	81%	520.0	104%
売上総利益	8.7% 58.0	9.1% 49.3	85%	未公表	—
販管費	6.9% 46.0	8.1% 43.8	95%	未公表	—
営業利益	1.8% 11.9	1.0% 5.6	47%	0.8% 4.0	140%
経常利益	1.7% 11.2	0.9% 4.8	43%	0.7% 3.5	137%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1.3% 8.6	0.7% 3.7	43%	0.6% 3.0	122%
1株当たり中間配当金	15円	8円	▲7円	8円	±0円
換算レート(1米ドル)	¥108.63	¥106.92	¥-1.71	未公表	—

※①2021年3月期第1四半期決算発表(2020年8月5日)において公表した数値

※②1株当たり中間配当金、換算レートの前年同期比及び予想比は、増減を記載



■ デバイス事業

→売上高は、IoT関連ビジネスや海外新商材を主に扱う戦略デバイス事業が増加したものの、COVID-19の感染拡大や仕入先の商流変更によりコアデバイス事業が減少、更にボリュームビジネスでは事業ポートフォリオ改革の一環として販売規模を最適化した影響も加わり前年同期比減少

→セグメント損益は、販管費の削減に努めたものの、売上総利益の減少が影響し前年同期比大幅な減少

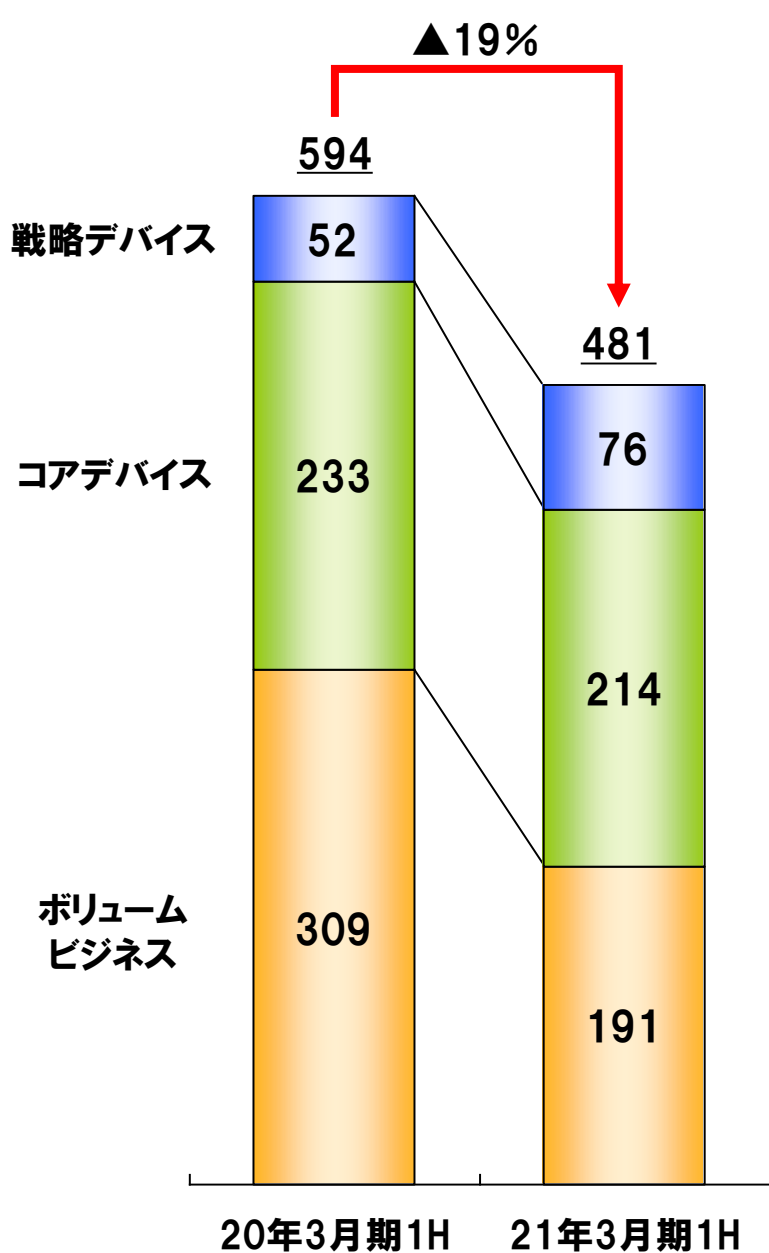
■ ソリューション事業

→売上高は、COVID-19の感染拡大による影響はデバイス事業に比べ軽微に留まったものの、アプリケーションソフトを除く分野は総じて減少したことから前年同期比減少

→セグメント損益は、売上高総利益率が向上したものの、売上高の減少を補うには至らず前年同期比減益

		20年3月期 第2四半期 累計実績	21年3月期 第2四半期 累計実績	前期 同期比
デバイス 事業	売上高	594.5	480.7	81%
	営業利益	1.7% 10.3	1.1% 5.1	49%
	セグメント利益	0.8% 4.9	-0.1% -0.7	▲5.5億円減
ソリューション 事業	売上高	69.6	59.0	85%
	営業利益	11.6% 8.1	12.1% 7.2	88%
	セグメント利益	9.0% 6.3	9.2% 5.4	86%
換算レート（1米ドル）		¥108.63	¥106.92	¥-1.71

※換算レート及びデバイス事業のセグメント利益の前期比は増減額を記載

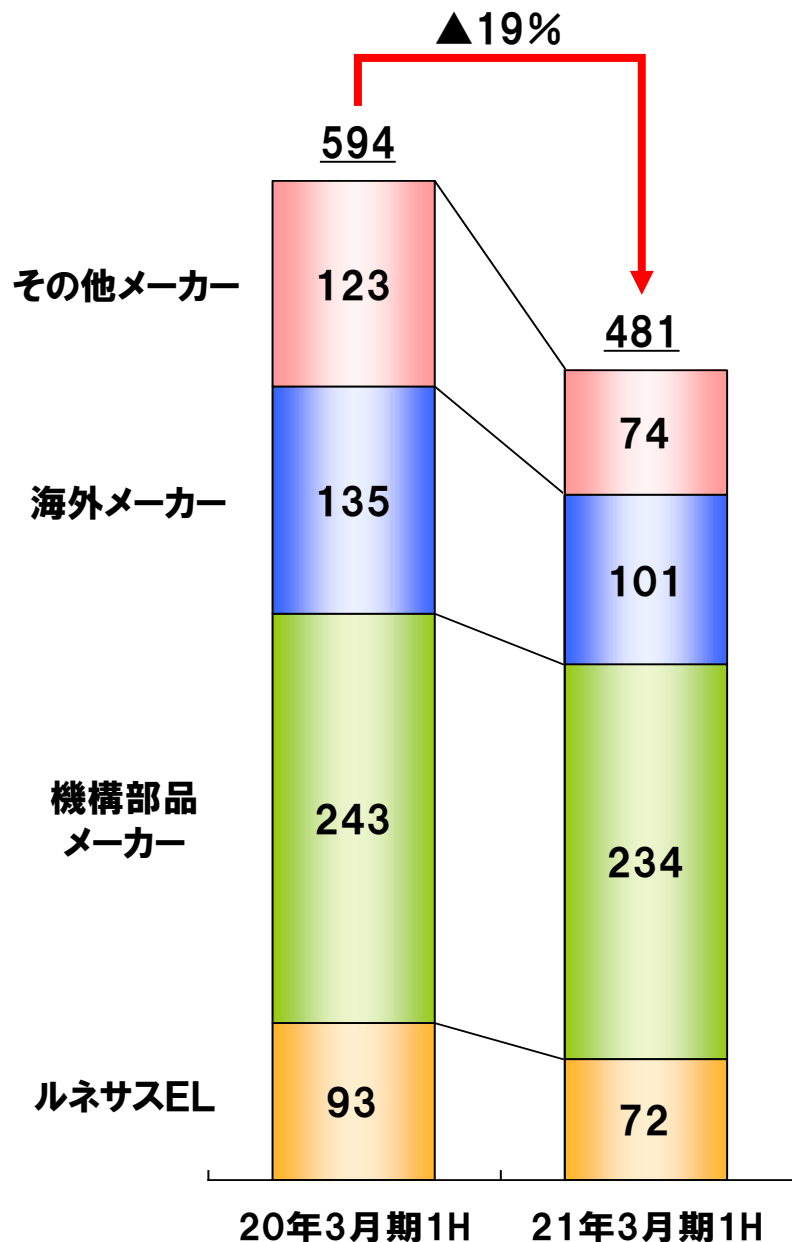


デバイス事業ビジネス別

【前年同期比増減内容】

- ボリュームビジネス
 - 前期の1Qに不採算事業から撤退したことから、モバイル向けが減少
 - 社会インフラ向けも減少
- コアデバイス
 - COVID-19の影響やルネサスELの商流変更により減少
 - ゲーム機向けは堅調に推移
- 戦略デバイス
 - IoT関連Biz/無線系海外商材が増加

	前年同期比
ボリュームビジネス	▲38%
コアビジネス	▲8%
戦略ビジネス	+44%

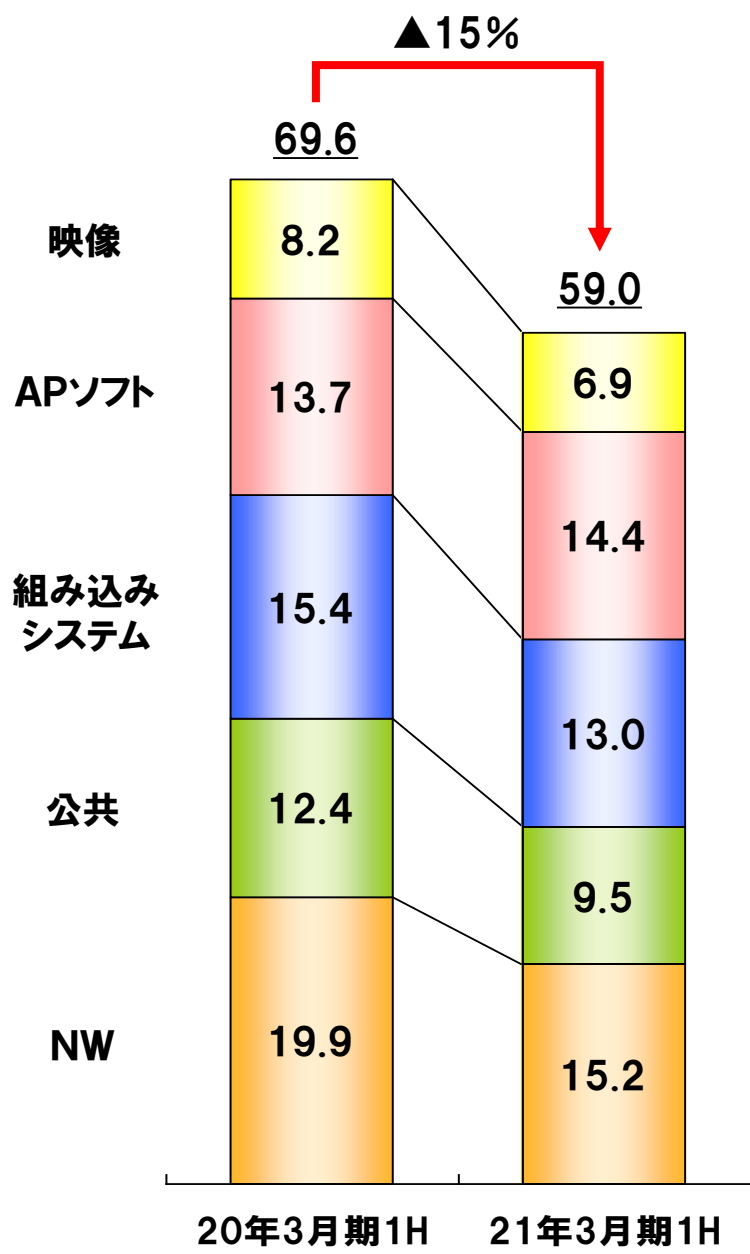


デバイス事業仕入先別

【前年同期比増減内容】

- ルネサスEL
 - COVID-19の影響や商流変更により減少
- 機構部品メーカー
 - モバイル向けが減少
 - ゲーム機向けは堅調に推移
- 海外メーカー
 - COVID-19の影響により減少
 - 前期の1Qに不採算事業から撤退したことから、モバイル向けが減少
 - 無線系新規Bizは増加
- その他メーカー
 - 社会インフラ向けが減少

	前年同期比
ルネサスEL	▲23%
機構部品メーカー	▲4%
海外メーカー	▲25%
その他メーカー	▲40%



ソリューション事業分野別

【前年同期比増減内容】

- NW
 - 前年はWindows10更新特需の剥落により減少
- 公共
 - 官公庁プラットフォーム案件等の減少
- 組み込みシステム
 - PCサーバ関連等が減少
- APソフト
 - 基幹開発やライセンス更新が増加
- 映像
 - プロダクション設備投資の減少

事業分野	前年同期比
NW	▲24%
公共	▲23%
組み込みシステム	▲16%
APソフト	+5%
映像	▲16%

※組み込みシステムは販売製品の内容からNWと一部組み替えを行っております。

- 20年9月末実績は総資産 773億円(前期末比+37億円)、自己資本比率53.3%(前期末比▲3.7P)
 →販売構成の変化により売掛債権が増加し有利子負債が増加、営業CFは▲39.7億円

①貸借対照表

	19年3月末 実績 A	20年3月末 実績 B	B-A 増減	20年9月末 実績 C	C-B 増減
現預金	170.6	184.4	13.8	180.1	△ 4.3
売掛債権	473.9	283.9	△ 190.0	339.2	55.3
棚卸資産	147.2	161.7	14.5	162.6	0.9
その他資産	90.9	106.6	15.7	91.4	△ 15.2
資産合計	882.6	736.6	△ 146.0	773.2	36.6
買掛債務	184.6	140.4	△ 44.2	135.1	△ 5.3
有利子負債	240.7	149.5	△ 91.2	197.9	48.4
その他負債	30.1	26.4	△ 3.8	27.6	1.3
純資産合計	427.1	420.3	△ 6.8	412.6	△ 7.7
負債・純資産合計	882.6	736.6	△ 146.0	773.2	36.6
自己資本比率	48.3%	57.0%	8.7%	53.3%	-3.7%

②キャッシュフロー計算書

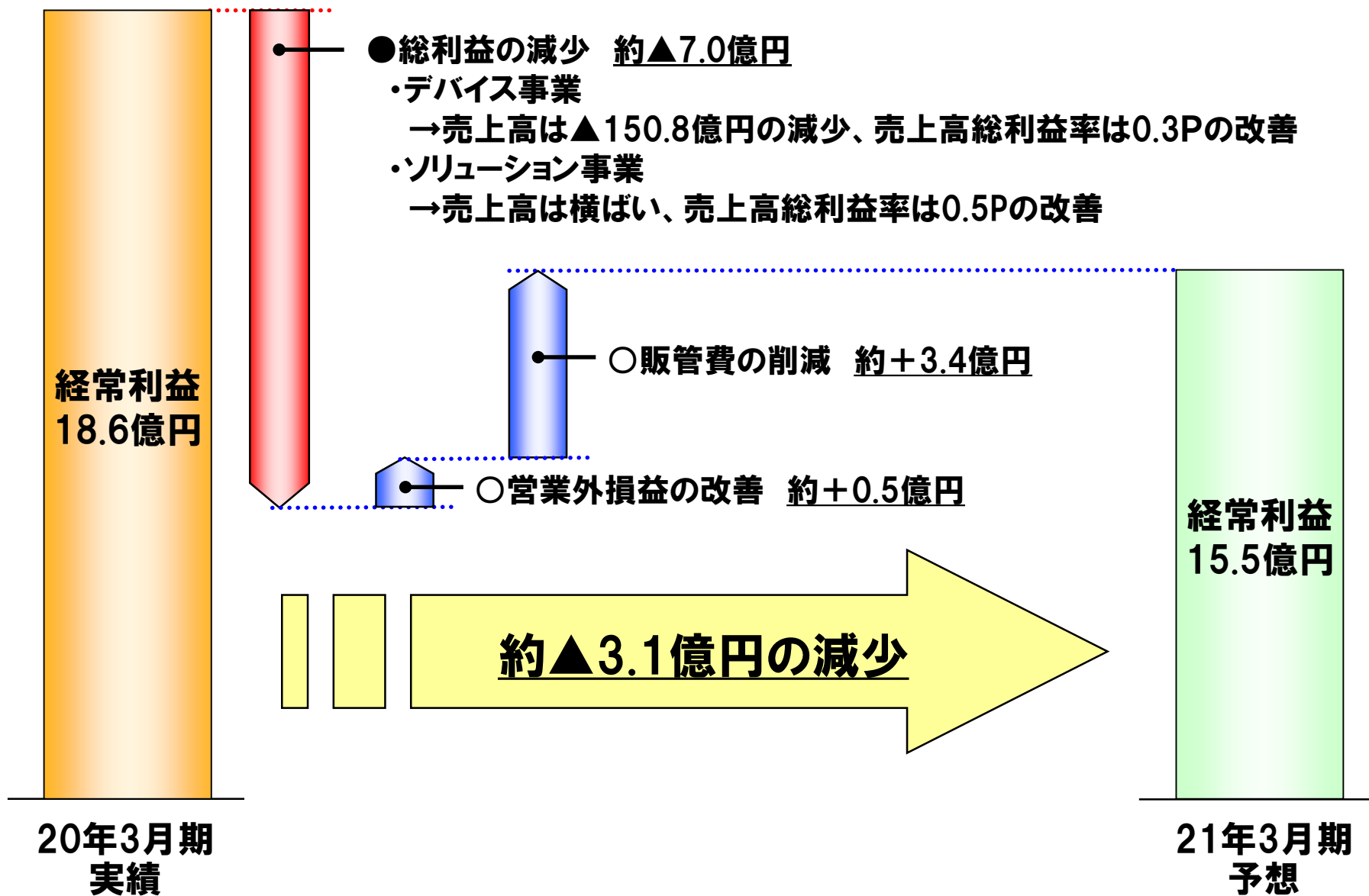
	19年3月期 実績	20年3月期 実績	21年3月期 1H実績
売上債権の減少(△は増加)	17.0	183.4	△ 59.8
棚卸資産の減少(△は増加)	24.0	△ 15.8	△ 2.1
仕入債務の増加(△は減少)	25.4	△ 41.6	△ 3.3
その他	24.3	△ 5.3	25.5
営業C/F	90.6	120.7	△ 39.7
投資C/F	18.2	△ 2.7	△ 3.2
財務C/F	△ 110.2	△ 102.9	38.6
換算差額	0.3	△ 1.3	△ 0.03
現預金の増減額	△ 1.1	13.8	△ 4.3
新規連結に伴う現預金の増加			
現預金の期末残高	170.6	184.4	180.1

Ⅱ. 2021年3月通期業績予想

■ 売上高総利益率の改善や販管費の削減を見込むものの、売上高減少により減益の見通し

	17年3月期 実績	18年3月期 実績	19年3月期 実績	20年3月期 実績	21年3月期 予想	前期比
売上高	1,676.6	1,572.6	1,478.8	1,230.9	1,080.0	88%
売上総利益	6.4% 106.9	7.3% 114.5	7.7% 114.1	9.1% 112.3	9.7% 105.3	94%
販管費	5.9% 98.8	6.2% 96.8	6.4% 94.4	7.5% 92.7	8.3% 89.3	96%
営業利益	0.5% 8.0	1.1% 17.6	1.3% 19.7	1.6% 19.6	1.5% 16.0	82%
経常損益	-0.6% -9.5	1.1% 17.9	1.2% 17.4	1.5% 18.6	1.4% 15.5	83%
親会社株主に帰属する 当期純損益	-0.9% -15.8	0.6% 9.5	1.0% 14.5	1.2% 14.5	1.2% 13.5	93%
自己資本当期純利益率 (ROE)	-2.5%	1.5%	2.8%	3.4%	3.2%	▲0.2P
1株当たり年間配当金	25円	33円	70円	70円	35円	▲35円
配当性向	—	98.2%	93.3%	93.2%	50.1%	▲43.1P
換算レート(1米ドル)	¥108.42	¥110.86	¥110.91	¥108.74	¥105.96	¥-2.78

※ROE、1株当たり年間配当金、配当性向、換算レートの前期比は、増減額を記載



■ デバイス事業

地域差はあるもののCOVID-19の感染拡大による影響は依然継続。加えて、ルネサスエレクトロニクスとの特約店契約解消の影響が下期本格化する見込みであり、前期比減収減益となる見通し

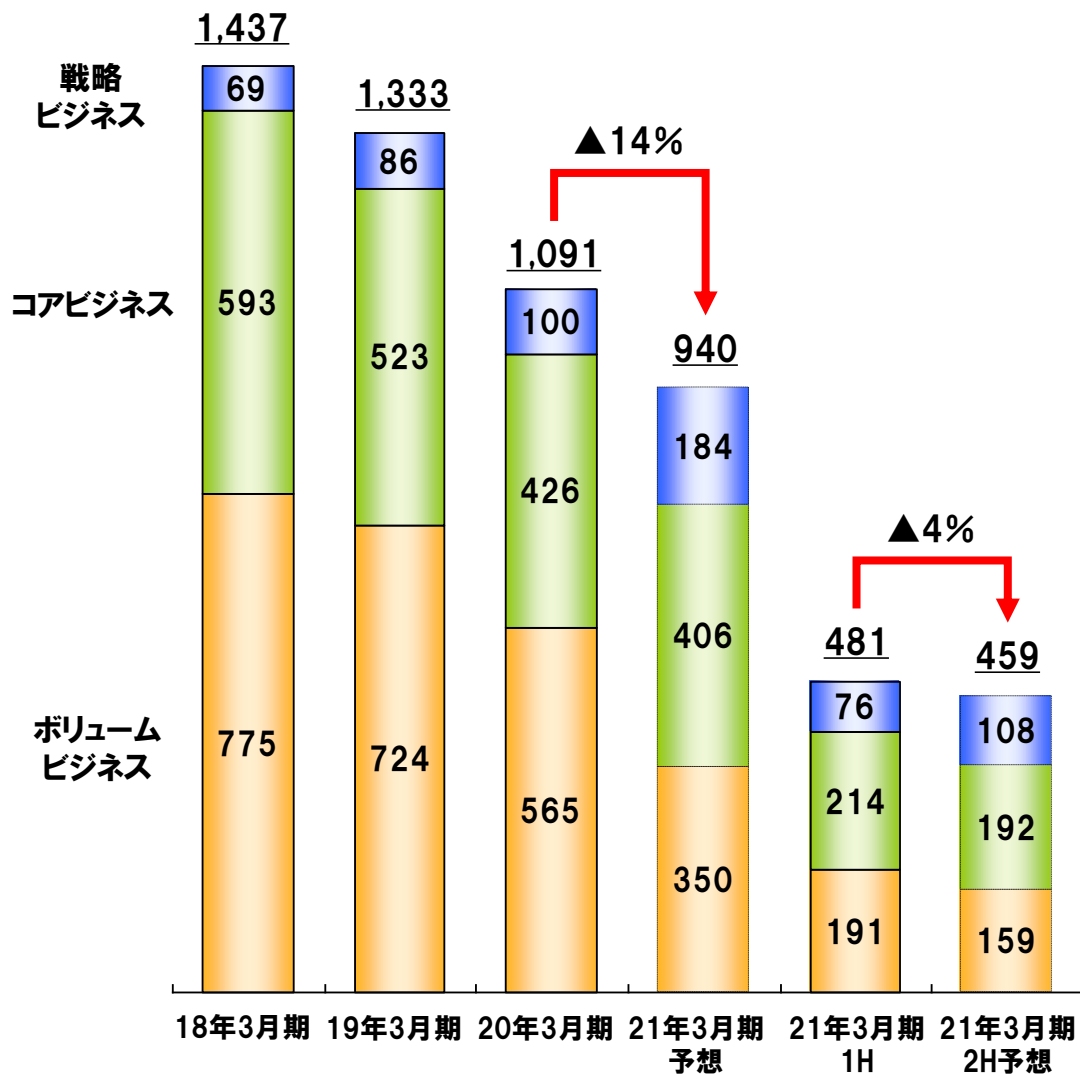
■ ソリューション事業

COVID-19の感染拡大に伴い、企業の設備投資抑制の影響が下期も見込まれる反面、デジタル化ニーズの増加、官公庁向けの伸長が見込まれ、売上高、利益ともに前期並みの水準となる見通し

		17年3月期 実績	18年3月期 実績	19年3月期 実績	20年3月期 実績	21年3月期 予想	前期比
デバイス 事業	売上高	1,554.8	1,437.0	1,332.8	1,090.8	940.0	86%
	営業利益	0.4% 6.8	1.1% 16.2	1.3% 17.1	1.4% 15.3	1.3% 12.2	80%
	セグメント利益	-1.3% -20.3	0.5% 7.2	0.3% 4.7	0.4% 4.2	0.1% 1.0	24%
ソリューション 事業	売上高	121.7	135.6	146.0	140.1	140.0	100%
	営業利益	10.1% 12.4	9.8% 13.4	11.3% 16.5	13.2% 18.4	13.3% 18.6	101%
	セグメント利益	8.8% 10.8	7.8% 10.6	8.7% 12.7	10.3% 14.4	10.4% 14.5	100%
換算レート（1米ドル）		¥108.42	¥110.86	¥110.91	¥108.74	¥105.96	¥-2.78

※換算レートの前期比は、増減額を記載

通期売上高

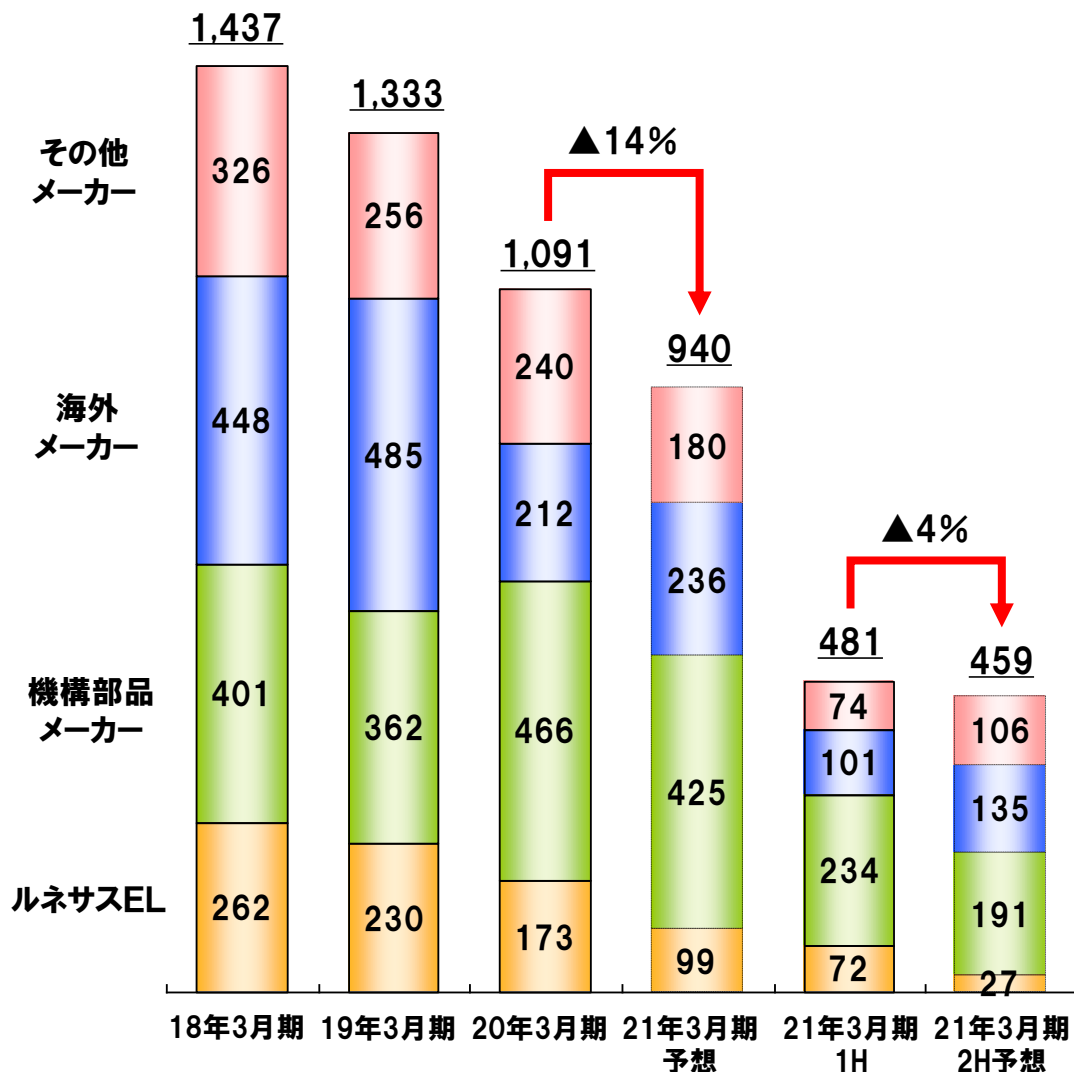


【前期比増減内容】

- ボリュームビジネス
 - 前期1Qに不採算事業から撤退したことから、モバイル向けが減少
 - 社会インフラ向けも減少
- コアデバイス
 - COVID-19の影響やルネサスELの商流変更により減少
 - ゲーム機向けは堅調に推移
- 戦略デバイス
 - IoT関連Biz/無線系海外商材が増加

	前期比
ボリュームビジネス	▲38%
コアビジネス	▲5%
戦略ビジネス	+85%

通期売上高

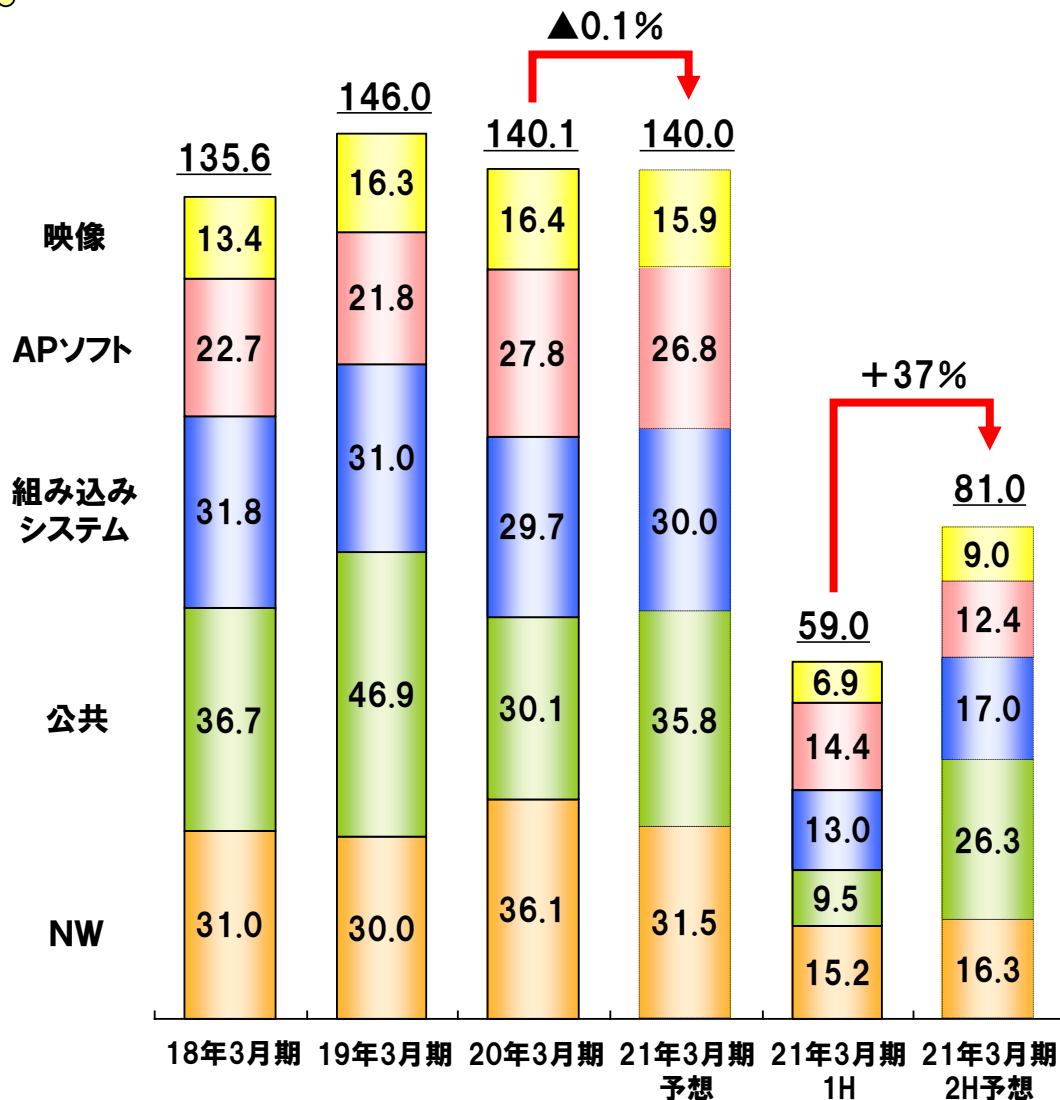


【前期比増減内容】

- ルネサスEL
 - COVID-19の影響により減少
 - 商流変更により減少
- 機構部品メーカー
 - モバイル向けが減少
 - ゲーム機向けは堅調に推移
- 海外メーカー
 - COVID-19の影響により減少
 - 前期1Qに不採算事業から撤退したことから、モバイル向けが減少
 - 無線系新規Bizは増加
- その他メーカー
 - 社会インフラ向けが減少

	前期比
ルネサスEL	▲43%
機構部品メーカー	▲9%
海外メーカー	+11%
その他メーカー	▲25%

通期売上高



【前期比増減内容】

- NW
 - 民間企業インフラ設備投資の減少
- 公共
 - 官公庁大型プラットフォームが増加
- 組み込みシステム
 - 組込サーバ関連等横ばい
- APソフト
 - 新規開発案件の減少
- 映像
 - プロダクション設備投資の減少

	前期比
NW	▲13%
公共	+19%
組み込みシステム	+1%
APソフト	▲4%
映像	▲3%

※組み込みシステムは販売製品の内容からNWと一部組み替えを行っております。

■ 21年3月末予想は総資産 760億円(前期末比+23億円)、自己資本比率55.3%(前期末比▲1.7P)

→棚卸資産は減少も販売構成の変化により売掛債権が増加し、有利子負債が増加の見通し、営業CFは▲4.7億円

①貸借対照表

	19年3月末 実績 A	20年3月末 実績 B	B-A 増減	21年3月末 予想 C	C-B 増減
現預金	170.6	184.4	13.8	190.0	5.6
売掛債権	473.9	283.9	△ 190.0	333.6	49.7
棚卸資産	147.2	161.7	14.5	135.0	△ 26.7
その他資産	90.9	106.6	15.7	101.4	△ 5.2
資産合計	882.6	736.6	△ 146.0	760.0	23.4
買掛債務	184.6	140.4	△ 44.2	135.0	△ 5.4
有利子負債	240.7	149.5	△ 91.2	177.0	27.5
その他負債	30.1	26.4	△ 3.8	27.2	0.8
純資産合計	427.1	420.3	△ 6.8	420.8	0.5
負債・純資産合計	882.6	736.6	△ 146.0	760.0	23.4
自己資本比率	48.3%	57.0%	8.7%	55.3%	-1.7%

②キャッシュフロー計算書

	19年3月期 実績	20年3月期 実績	21年3月期 予想
売上債権の減少(△は増加)	17.0	183.4	△ 49.7
棚卸資産の減少(△は増加)	24.0	△ 15.8	26.7
仕入債務の増加(△は減少)	25.4	△ 41.6	△ 5.4
その他	24.3	△ 5.3	23.8
営業C/F	90.6	120.7	△ 4.7
投資C/F	18.2	△ 2.7	△ 4.3
財務C/F	△ 110.2	△ 102.9	14.5
換算差額	0.3	△ 1.3	
現預金の増減額	△ 1.1	13.8	5.6
新規連結に伴う現預金の増加			
現預金の期末残高	170.6	184.4	190.0

●利益配分に関する方針

当社は、株主の皆様へ利益を還元していくことを重要な経営課題の一つとして位置づけております。配当につきましては、連結配当性向50%を目処とし、株主の皆様への利益還元、成長機会獲得のための投資、持続的な成長を可能とする内部留保、資本効率の向上、これらのバランスを考慮して決定することを基本方針としております。

●2021年3月期における利益配分方針

- ・2021年3月期配当予定：1株当たり年間配当金 35円
 - 第2四半期末配当 8円、期末配当 27円
 - 連結配当性向 50.1%
 - 17年3月期～21年3月期平均連結配当性向 138.4%

	17年3月期 実績	18年3月期 実績	19年3月期 実績	20年3月期 実績	21年3月期 予想
①連結当期純利益	▲1,575百万円	947百万円	1,449百万円	1,451百万円	1,350百万円
②包括利益	▲720百万円	912百万円	1,585百万円	666百万円	—
③連結自己資本比率	65.4%	65.7%	48.3%	57.0%	55.3%
④配当総額 (1株当り配当)	704百万円 (25円)	934百万円 (33円)	1,352百万円 (70円)	1,352百万円 (70円)	671百万円 (35円)
⑤連結配当性向	—	98.2%	93.3%	93.2%	50.1%
⑥自己株式取得総額 (取得株式数)	—	—	197.2億円 (900万株)	—	未定
⑦総還元性向(④+⑥)÷①	—	98.2%	1,454.2%	93.2%	未定
⑧自己株式消却	—	—	5,000千株	—	未定
⑨期末発行済株式総数 (自己株式除く)	29,281千株 (28,179千株)	29,281千株 (28,179千株)	24,281千株 (19,178千株)	24,281千株 (19,180千株)	未定
⑩1株当たり当期純利益	▲55.90円	33.62円	67.48円	75.66円	70.37円
⑪1株当たり純資産	2,183.84円	2,191.19円	2,224.47円	2,188.84円	2,193.59円

※1)配当総額には、取締役(社外取締役を除く)を対象とする業績連動型株式報酬制度に係る信託が保有する株式に対する配当額も含まれます。

2)1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数(自己株式除く)で算出しております。

3)1株当たり純資産は期末発行済株式総数(自己株式除く)で算出しております。

4)21年3月期予想における1株当たり当期純利益、1株当たり純資産は20年9月末発行済み株式総数(自己株式除く)で算出しております。

5)20年3月期迄の累計自己株式取得総額は257.5億円、17,281千株(うち12,252千株は消却済み)であります

信

用

信用

商売は信用がなければ
成り立たない。信用に
始まって信用に終わる。

信

念

信念

利を追うだけでなく、
信念に基づいて行動
する。その信念は自己
研鑽の結果身につく
ものである。

信

実

信実

すべてのことに真心を
もってあたる。課題には
正攻法で立ち向かう。